

2026年(令和8年)5月29日号のちいき新聞に、柏市シルバー人材センターの富谷多得子会員の就業先に関する記事が掲載されました。

広がるシルバー人材センターの働き方

いくつになっても「夢」は見つかる

60歳以上の人に仕事を提供しているシルバー人材センターには、地域に根差したさまざまな仕事があります。実際に活躍する会員取材しました。

「古民家で働きたい」という夢を実現

柏市シルバー人材センター会員
富谷多得子さん

「旧手賀教会堂」のたずまいに一目ぼれ

軽快に来館者に千葉県指定文化財「旧手賀教会堂」の歴史を案内する富谷さん。旧手賀教会堂は、日本でキリスト教が解禁されて間もない明治14(1881)年に建てられました。茅葺きの民家を転用した現存する教会堂

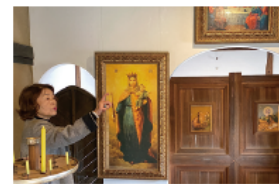


て旧手賀教会堂を目にした時、そのたずまいに瞬で心を奪われたそうです。

当初は、来館者から質問があつた場合はいったん内容を控え、後日学芸員が回答するという運用でした。しかし、その場で知りたい人が多いと感じた富谷さんは、自ら「分かる範囲で説明してもよいでしょうか」と申し出たと言います。以来、教会の歴史を調べうち、その奥深さにすっかり魅了されていきました。

「推し」が職場という幸せ

旧手賀教会堂は、宣教師ニコライの布教活動の影響で生まれた、日本ハリストス正教会の教会堂です。正教会の教会には、聖画「イコン」が欠かせません。旧手賀教会堂に掲げられていたイコンのうち3点は、日本初の女流イコン画家・山下りん(複製)です。富谷さんは、御茶ノ水にある通称「二



イコン(複製)について説明する富谷さん

コライ堂(東京復活大聖堂)や、山下りんの墓にも足を運ぶなど、熱心に知識を深めてきました。「歴史好きや専門家の方が多く訪れるので、むしろ来館者から学ばせてもらうこともあり、ありがたいです」と話します。

やりがいを感じるのは、「つい長居しちやった」と満足そうに帰る来館者の姿を見た時や、知人を連れて再び訪れてくれた時。建物好きの来館者と意気投合し、良き友人ができたことも。「この教会がつかないでくれたご縁ですね」と笑います。「まさかこの年で『推し』に出会えるなんて思ってもいなかった」と富谷さん。「多彩な仕事があるので、ぜひ自分の希望を伝えてみてほしい」と語りました。